

## 2018 年度事業計画

(2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

北海道の生態系の頂点のシマフクロウは、生息地間が分断傾向のため移動中の事故などで分散しにくい状況があります。雄と雌が会う機会が少なく近親交配の懸念もあります。そのため、生息地間の環境整備や生物多様性のある環境の保全、またそれを後押しする関係地域等への普及啓発が課題です。

本年は、この課題に対し一昨年より実施している、保護保全で効果のある補助給餌の実態を把握する初のモニタリング調査を引き続き継続して基礎データの収集を行います。生息できる環境の保全を進めるため、地域の環境 N P O 等と協働で保全・買取を進めます。

普及啓発の推進では、引き続き植林地のメンテナンスなど保全活動の一部をサポートや地域住民向けの支援活動として実施し、また地域の学校でシマフクロウをテーマとした環境学習を実施するなど、体験を通じて理解や関心を高める機会を提供します。またアートを介したシマフクロウ支援や頒布品の制作等も予定しています。

今後の生息環境保全推進に向け、本年は保護・保全と普及・啓発事業の両面から、新たな試みに着手する年とします。

事業名	実施場所・時期	内容	予算
<b>I 保護・保全事業</b>			
1. 調査			
(1) モニタリング調査	釧路管内 1 か所	昨年に引き続き、給餌池の利用状況やペアの繁殖行動等を 24 時間動画によるモニタリング調査を実施します。	助成金(取得済)
生息地パトロール	釧路管内計 3 カ所 定期的	3 ペアの生息地パトロールを適期に実施し、天敵の有無や人の立ち入り、環境の変化等に注意を払い必要に応じて保護保全対策にあたります。	守りたい寄付(車燃料代)
(2) 繁殖確認調査	釧路管内 計 7 か所 3 月～5 月	例年通り、今年度のペアの繁殖の有無を確認する調査を適期に実施します。	守りたい寄付(車燃料代)
(3) 生息確認調査	釧路管内 1 月～12 月	昨年に引き続き、浜中町の酪農地帯を主体に若鳥の生息確認調査や地域住民へのヒアリングを実施します。	はまなか農地水保全管理交付金(車輛借上料、労務費)
2. 補助給餌			
	釧路管内 1 か所 年 6～7 回、繁殖時は 8～10 回予定。	昨年同様、シマフクロウへの繁殖を支援する補助給餌として、おさかな寄付の募集、活魚購入、専用給餌池に放流を行います。	おさかな寄付(活魚代)
3. 生息環境の保全			
(1) 植林地メンテナンス	釧路管内 1 か所 6 月～11 月	草刈、電気柵の整備などをサポーターや地域住民による支援活動として実施します。	はまなか農地水保全管理交付金交付金
(2) 重要環境の保全・買取	釧路管内	<b>new</b> シマフクロウを含む生物多様性保全として優先度の高い主要河川の水源地等の保全・買取について、地域の NPO 法人等と協働で進めます。	
(3) 関係団体へのヒアリング		地域の関係機関が長年取り組んでいる環境保全活動の実態を把握するヒアリングを引き続き実施します。	
<b>II 普及啓発事業</b>			
1. 環境教育			
(1) シマフクロウ学習	浜中町 実施時期は、	(1) シマフクロウ学習を実施している 2 校および実施希望の学校で実施します。	浜中町教育委員会

(2)環境学習勉強会	学校や講師と応相談。	(2) <b>new</b> 講師招聘：「地域を変え、未来をひらく環境学習」等の実践例を紹介いただく予定です。	はまなか農地水保全管理交付金を予定。
3. 広報			
(1)ウェブサイト、SNSによる発信	通年、国内外	ウェブサイトや SNS を連携しシマフクロウの現状や課題等をわかりやすく伝え、環境への配慮やマナーの向上、活動の認知、支援の向上を目指します。	
(2)スライドトークによる発信	東京 4月 浜中町 10月 他、受付先にて	昨年に引き続き自主開催のほか、他の開催地においては <b>new</b> * 申込制で随時受付します。シマフクロウ保護推進のため、生態動画や当取組みを紹介し、ルール・マナーの向上、団体認知を推進しています。	申込制
(3)頒布品による発信		<b>new</b> 頒布品を制作しイベント等で頒布を予定。制作費を集める段階から、普段の活動では届かない層や特に若い世代にリーチし、団体の認知度向上を図ります。活動への理解者を拡充し、同時に活動資金の獲得を目指します。	クラウドファンディングを予定
(4)印刷物による発信	3月以降  隔月	<b>new</b> 新パンフレット(2018年2月9日完成)を関係機関や宿泊施設、店舗等へ配架し、支援者層の拡充、ルール・マナーの向上を目指します。 サポーター向けに会報を発行し、活動への一層の理解や関心を推進します。	支えたい寄付：旅費、荷造運賃費
(5)その他 保護・保全・支援事業	浜中町 11月	<b>new</b> アートを介した環境保護活動。プロの野生生物画家との共同でシマフクロウを頂点とした環境について理解を深める「根釧の自然を描く～シマフクロウ・アートプロジェクト」を開催予定。	助成申請中  後援：浜中町、同教育委員会、町内環境NPOを予定。
(6)メディアによる発信	随時		
Ⅲ その他			
サポーター懇親会	東京 4月初旬 浜中 10月末	10年目の節目として、サポーターの皆様と懇親会を予定。	

以上